

特別プログラム

※本号（ ）内のページ数を掲載しております。

	プログラム/抄録	
代議員総会・会員総会・評議員会	P.25	—
第20回日本エイズ学会学会賞 (シミック賞) 受賞講演	P.25	—
会 長 講 演	P.25	P.89
特 別 講 演	P.26	P.90
特 別 シ ン ポ ジ ウ ム	P.26	P.91
日本エイズ学会シンポジウム	P.27	P.96
シンポジウム「治療の手引き」	P.28	P.100
合 同 シ ン ポ ジ ウ ム	P.29	P.106
シ ン ポ ジ ウ ム	P.31	P.125
ワ ー ク シ ョ ッ プ	P.36	P.176
Scientific Engagement Satellite Symposium	P.39	P.191
共 催 シ ン ポ ジ ウ ム	P.40	P.192
ラ ン チ ョ ン セ ミ ナ ー	P.44	P.201
ポジティブトークセッション	P.48	P.211
メモリアルサービス	P.48	P.212
日本エイズ学会認定講習会(医師)	P.49	P.213
日本エイズ学会認定 HIV 感染症 看護師 教育研修プログラム	P.49	P.216
日本エイズ学会認定 HIV 感染症 指導看護師向けアドバンスト研修	P.50	P.219
HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会	P.50	P.220

■日時：12月4日（月） 10：15～11：15

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

第20回日本エイズ学会学会賞（シミック賞）受賞講演

■日時：12月4日（月） 11：15～11：30

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

第20回日本エイズ学会学会賞
（シミック賞）受賞講演

座長 杉浦 互（国立国際医療研究センター）

会長講演

■日時：12月4日（月） 11：30～11：45

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

会長講演

座長 杉浦 互（国立国際医療研究センター）

■演者：

CH

HIV-1 基礎研究者から臨床医として

高折晃史

京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

特別講演

■日時：12月3日（日） 11:15~12:15

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

特別講演

座長 高折晃史（京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学）

■演者：

SP

Direct infection of microglia in human brain organoids induces inflammation leading to bystander neuron dysfunction and death: Implications for HIV-associated neurocognitive disorder (HAND)

Warner C. Greene

Michael Hulton Center for HIV Cure Research at Gladstone, San Francisco, CA, USA 94158/Gladstone Institute of Virology, San Francisco, CA, USA 94158/Departments of Medicine and of Microbiology and Immunology, University of California, San Francisco, CA, USA 94143

特別シンポジウム

■日時：12月3日（日） 8:45~11:05

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

特別シンポジウム （基・B）

Cutting Edge in HIV Cure
Research~前臨床・臨床研究
の最新知見~

座長 明里宏文（京都大学ヒト行動進化研究センター）
野村拓志（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同
研究センターウイルス病態学分野）

■演者：

SSY-1

Keynote : TBA

Romas Geleziunas

Executive Director, Biology at Gilead Sciences, USA

SSY-3

The development of a novel animal model for analyzing immune responses in tissues which contributes to eliminating the HIV reservoir.

Takushi Nomura

Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan/AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan

SSY-2

Is cellular immunity necessary for HIV cure?

Takuya Yamamoto

Center for Intractable Diseases and ImmunoGenomics, National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition, Japan

SSY-4

The role of bNAbs in HIV curative strategies

Ole Schmeltz Sogaard

Aarhus University Hospital, Denmark

日本エイズ学会シンポジウム

■日時：12月4日（月） 13:15~15:05

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

日本エイズ学会
シンポジウム

「エイズ予防指針」新時代の課題

司会

松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

白阪琢磨（国立大阪医療センター HIV/エイズ先端医療開発センター）

第1部：エイズ医療体制のこれまでとこれから

■演者：

AS-1

エイズ医療体制のこれまでとこれから

瀧永博之

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

■パネリスト：

猪狩英俊

千葉大学医学部附属病院感染制御部

塚田訓久

国立病院機構東埼玉病院臨床研究部

四本美保子

東京医科大学臨床検査医学分野

第2部：エイズ検査体制のこれまでとこれから

■演者：

AS-2

エイズ検査体制のこれまでとこれから

今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院

■パネリスト：

和田秀穂

川崎医科大学血液内科学

岩橋恒太

特定非営利活動法人 akta

椎野禎一郎

国立国際医療研究センター臨床研究センター

第3部：ポストコロナの HIV 感染予防

■演者：

AS-3

ポストコロナの HIV 感染予防

塩野徳史

大阪青山大学/MASH 大阪

■パネリスト：

宮田りりい

SWASH (SexWork And SexualHealth)

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科

塩尻大輔

パーソナルヘルスクリニック

シンポジウム「治療の手引き」

■日時：12月5日（火） 14：10～16：10

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

シンポジウム 「治療の手引き」 （臨・C）

座長 満屋裕明（国立国際医療研究センター研究所所長）
岡 慎一（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター名誉センター長）
白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター特別顧問）

■演者：

TR1-1	抗 HIV 作用注射剤と 2 剤療法の現状と課題 渡邊 大 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部	TR1-4	PrEP の新たな展開 塩尻大輔 パーソナルヘルスクリニック
TR1-2	HIV 感染者における COVID-19：診断・治療・予後 中本貴人 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター	TR1-5	HIV 検査システムの課題 城所敏英 東京都新宿東口検査・相談室
TR1-3	HIV/AIDS 症例で見られる悪性腫瘍 渡辺恒二 国立国際医療研究センター・エイズ治療・研究開発センター/熊本大学・ヒトレトロウイルス学共同研究センター	TR1-6	ZERO transmission in Japan by 2030 白阪琢磨 公益財団法人エイズ予防財団/独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

合同シンポジウム

■日時：12月3日（日） 10：25～11：55

■会場：第4会場（2F 朱雀③）

合同 シンポジウム 1 （臨・C/社・S）

HIV/AIDSとCOVID-19で繰り返される誤解、偏見、差別～感染症と適確に向き合い、対処することの難しさを考える～

座長 岩室紳也（ヘルスプロモーション推進センター）
矢永由里子（西南学院大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻）

■演者：

JSY1-1 臨床現場での新型コロナウイルスとエイズに対する誤解、偏見、差別～変わったことと変わっていないこと～

白野倫徳
大阪市立総合医療センター感染症内科

JSY1-2 感染症を正しく受け入れるためのアプローチを考える—HIV/AIDSとCOVID-19の偏見差別の実態を踏まえて—

青木理恵子
特定非営利活動法人 CHARM

JSY1-3 今回のCOVID-19のコミュニティ活動（電話相談）を通して考える感染症の課題

矢永由里子
西南学院大学大学院人間科学研究科

JSY1-4 自分ごととなるための普及啓発のポイント

岩室紳也
ヘルスプロモーション推進センター

■日時：12月3日（日） 13：45～15：45

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

合同 シンポジウム 2

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

座長 杉浦 亙（国立国際医療研究センター）
高折晃史（京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学）

■演者：

JSY2-1 VHH抗体技術を用いた革新的抗SARS-CoV-2広範囲中和抗体製剤の開発

高折晃史
京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

JSY2-2 新型コロナウイルス感染症の疫学と対策

西浦 博
京都大学大学院医学研究科

JSY2-3 新型コロナウイルスの進化とこれから

佐藤 佳
東京大学医科学研究所

JSY2-4 COVID-19の臨床

大曲貴夫
国立国際医療研究センター国際感染症センター

合同シンポジウム

■日時：12月4日（月） 8：30～10：00

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

合同
シンポジウム 3
（臨・C/社・S）

日本での公衆衛生上の危機としての“AIDS”終幕を目指した課題の検討

座長 岩橋恒太（特定非営利活動法人 akta）
白野倫徳（大阪市立総合医療センター感染症内科）

■演者：

JSY3-1 HIV/AIDS 対策の現状と課題

荒木裕人

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部
感染症対策課

JSY3-4 関西での PrEP 実装の動き

宇野健司

南奈良総合医療センター感染症内科

JSY3-2 近年の日本国内 HIV 発生動向

松岡佐織

国立感染症研究所エイズ研究センター

JSY3-5 combination prevention 時代の
差別偏見について、今どこにいて、
どう変えていくのか

岩橋恒太

特定非営利活動法人 akta

JSY3-3 世界最大の医療データベースから
見える日本の HIV 感染者・エイズ
患者の現在

野田龍也

奈良県立医科大学公衆衛生学講座

■コメンテーター：

大北全俊

東北大学大学院医学系研究科

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

■日時：12月5日（火） 9：00～10：30

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

合同
シンポジウム 4
（臨・C/社・S）

HIV 陽性者の ACP における課題
への支援

座長 白野倫徳（大阪市立総合医療センター感染症内科）
岡本 学（独立行政法人国立病院機構大阪医療セン
ター医療福祉相談室）

■演者：

JSY4-1 HIV 陽性者におけるアドバンス・ケ
ア・プランニング（ACP）

古西 満

奈良県立医科大学健康管理センター/奈良県立医科大
学感染症センター

JSY4-3 ソーシャルワーカーが関わるアド
バンス・ケア・プランニングへの取
り組み

重信英子

広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室

JSY4-2 性的マイノリティの老後準備—老
いて、病んで、ボケて、死んで、そ
のあとまで

永易至文

特定非営利活動法人パープル・ハンズ

シンポジウム

■日時：12月3日（日） 8：45～10：15

■会場：第4会場（2F 朱雀③）

シンポジウム 1 （臨・C）

HIV 診療スタッフの世代交代に
関しての問題点と解決策

座長 宇野健司（南奈良総合医療センター感染症内科）
塚田訓久（国立病院機構東埼玉病院）

■演者：

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| SY1-1 | 関西 HIV 臨床カンファレンスの活動について
宇野健司
南奈良総合医療センター感染症内科 | SY1-4 | ソーシャルワーカーの担当者交代での現状と課題
箱崎祐紀子
兵庫医科大学病院医療社会福祉部 |
| SY1-2 | 地方の HIV 拠点病院での世代交代で起こったこと～サステナブルな HIV 診療のために、経営学手法を医療現場に用いたら～
田島靖久
浜松医療センター/光産業創成大学院大学バイオフォトニクスデザイン分野 | SY1-5 | 今後の HIV 診療を担う医療従事者に求められるもの
塚田訓久
国立病院機構東埼玉病院 |
| SY1-3 | HIV 診療スタッフの世代交代に関する問題点と解決策～信頼関係の構築に向けて～
河原陽子
神戸大学医学部附属病院 | | |

■日時：12月3日（日） 14：55～16：35

■会場：第4会場（2F 朱雀③）

シンポジウム 2 （社・S）

「Community-led」とは何か

座長 塩野徳史（大阪青山大学）
田沼順子（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

■演者：

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| SY2-1 | 世界標準としてのコミュニティ主導型 HIV 対策
田沼順子
国立国際医療研究センター | SY2-3 | Community の視点から Community-led へ期待すること
太田ふとし
やろっこ |
| SY2-2 | 「Community-led」と医薬品
花井十伍
特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権 | SY2-4 | HIV 予防における Community-led PrEP について
谷口俊文
千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科 |

■コメンテーター：

青木理恵子
特定非営利活動法人 CHARM

ユタカ
Rin かごしま

要友紀子
SWASH

シンポジウム

■日時：12月4日（月） 8：30～10：20

■会場：第2会場（2F 春秋③）

シンポジウム3 （基・B）	Cutting Edge in HIV Cure Research～latent reservoir 克服への新規戦略	座長	佐藤賢文（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）
			前田賢次（鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター抗ウイルス療法研究分野）

■演者：

SY3-1	HIV 潜伏感染維持再活性化相克の分子メカニズム 武内寛明 東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・ハイリスク感染症研究マネジメント学分野/東京医科歯科大学病院	SY3-3	HIV 感染症の克服を目指したCAR-T 細胞の開発研究 布矢純一 獨協医科大学医学部微生物学講座
SY3-2	HIV 治癒の可能性を見据えたりザーバー解析研究と新たな治療戦略に向けて 前田賢次 国立大学法人鹿児島大学	SY3-4	HIV リザーバ細胞に関する最新情報 佐藤賢文 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

■日時：12月4日（月） 8：30～10：20

■会場：第3会場（2F 朱雀①）

シンポジウム4 （臨・C）	HIV 診療におけるメンタルヘルス～HIV 診療と精神科の連携	座長	渡邊 大（国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部）
			南 留美（国立病院機構九州医療センター）

■演者：

SY4-1	HIV 関連神経認知障害（HAND）について 村井俊哉 京都大学大学院医学研究科	SY4-4	HIV 診療における心理士と精神科医の医療連携 木村宏之 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野
SY4-2	依存症支援の観点からみた HIV 陽性者への支援、関わり方について～精神科医の立場から～ 西村康平 神奈川県立精神医療センター	SY4-5	ブロック拠点病院における精神科との地域連携の現状と課題～ソーシャルワーカーの立場から～ 首藤美奈子 国立病院機構九州医療センター
SY4-3	広島大学病院 HIV 診療チームにおける臨床心理士（チーム内連携） 喜花伸子 広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室		

シンポジウム

■日時：12月4日（月） 13：15～14：45

■会場：第4会場（2F 朱雀③）

シンポジウム5 （社・S）

検査機会の拡大における壁は何か？～必要な人へ届く HIV 検査の実現に向けて～

座長 本間隆之（山梨県立大学看護学部）
貞升健志（東京都健康安全研究センター微生物部）

■演者：

SY5-1 iTesting を用いた HIV 検査から見えてきた「壁」

今橋真弓

名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

SY5-2 コミュニティセンターを活用した HIV・梅毒検査「dista でピタッとちえっくん」の事例

町登志雄

公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪

SY5-3 クリニックにおけるこれからの HIV 検査のあり方

佐藤昭裕

KARADA 内科クリニック

SY5-4 エイズ検査の壁、特に中高年層
灰 来人

認定 NPO 法人魅惑的倶楽部福岡コミュニティセンター HACO/notAlone Fukuoka HIV 陽性者交流会

■日時：12月4日（月） 14：55～16：25

■会場：第4会場（2F 朱雀③）

シンポジウム6 （社・S）

HIV 医療体制・制度はどのように作られ、今は何が課題なのか？～診療拒否されたあそこを振り返って

座長 宇野健司（南奈良総合医療センター感染症内科）
岡本 学（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター医療福祉相談室）

■演者：

SY6-1 薬害エイズの臨床現場を振り返る

西田恭治

国立病院機構大阪医療センター血友病科/感染症内科

SY6-2 HIV 医療体制・障がい制度活用～当時の背景から～

藤平輝明

元東京医科大学病院

SY6-3 HIV 訴訟がもたらした医療体制・制度の今後を考える

若生治友

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

シンポジウム

■日時：12月4日（月） 15：15～16：45

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

シンポジウム7 （臨・C）

PrEPの地域における展開と性
感染症への挑戦

座長

谷口俊文（千葉大学医学部附属病院感染制御部・感
染症内科）
水島大輔（国立国際医療研究センター）

■演者：

SY7-1

日本を取り巻く PrEP の現状と課
題

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科

SY7-2

トランスジェンダーの HIV/STI に
関する国内の現状報告について

池袋 真

女性医療クリニック LUNA ネクストステージトラン
スジェンダー外来

SY7-3

関西における PrEP・性感染症診療
の新たな挑戦—関西での HIV/STI
予防のネットワーク構築に向けて—

吉田昂汰

一般社団法人天照会いだてんクリニック

SY7-4

PrEP user における doxycycline
PEP/PrEP について

塩尻大輔

パーソナルヘルスクリニック

■日時：12月4日（月） 15：25～17：15

■会場：第2会場（2F 春秋③）

シンポジウム8 （基・B）

Cutting Edge in HIV Cure
Research～新規免疫療法の開
発戦略～

座長

石井 洋（国立感染症研究所エイズ研究センター）
本園千尋（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究
センター感染予防部門感染免疫学分野）

■演者：

SY8-1

Understanding persisting
HIV-specific CD8 T cells with
residual viral reservoir under
ART initiated from acute and
chronic HIV infection for HIV
remission

Hiroshi Takata

Vaccine and Gene Therapy Institute, Oregon
Health and Science University/Joint
Research Center for Human Retrovirus
Infection, Kumamoto University

SY8-2

ポリアミン代謝による T 細胞老化
の機序の解明

茶本健司

京都大学大学院医学研究科がん免疫 PDT 研究講座/
京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究セ
ンター免疫ゲノム医学講座

SY8-3

HIV 研究における iPS 細胞の活用/
iPS-cells in HIV research

金子 新

京都大学 iPS 細胞研究所免疫再生治療分野/筑波大学
トランスポーター医学研究センターがん免疫治療学

SY8-4

HIV/SIV vs passive neutraliz-
ing antibody : synergism with
cellular immunity

山本浩之

国立感染症研究所エイズ研究センター/Department
of Biomedicine, University Hospital Basel/熊本
大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

シンポジウム

■日時：12月5日（火） 9：00～10：30

■会場：第4会場（2F 朱雀③）

シンポジウム 9 （社・S）

トランスジェンダーレンズ 格
差を埋める、「不平等の危険」を
乗り越えていくための視点

座長 東 優子（大阪公立大学大学院現代システム科学研究科人間科学分野）

■演者：

SY9-1

エイズ予防指針にトランスジェン
ダーを明記せよ

宮田りりい

関西大学人権問題研究室/きんきトランス・ミーティ
ング/SWASH/MASH 大阪

SY9-3

性感染症予防・医療サービス利用
の阻害要因

金子典代

名古屋市立大学大学院看護学研究科

SY9-2

トランスジェンダーのセックス
ワークと性の健康

浅沼智也

TransgenderJapan

■日時：12月5日（火） 10：50～12：40

■会場：第4会場（2F 朱雀③）

シンポジウム 10（臨・C）

HIV 感染者の療養継続支援～看
護師としてできることは何か～

座長 東 政美（独立行政法人国立病院機構大阪医療セン
ター看護部）
羽柴知恵子（名古屋医療センター）

■演者：

SY10-1

慢性の病いをもつ対象者への継続
的なセルフマネジメント支援～
HIV 感染者の禁煙支援を中心に～

谷口千枝

愛知医科大学看護学部

SY10-3

HIV 感染者の受診中断予防のため
の支援

川戸敦子

京都大学医学部附属病院看護部

SY10-2

HIV 感染者の受診継続のための支
援

石井智美

石川県立中央病院

SY10-4

HIV 感染者の受診継続への支援の
困難さ

南村 茜

奈良県立医科大学附属病院

シンポジウム

■日時：12月5日（火） 11：10～12：40

■会場：第2会場（2F 春秋③）

シンポジウム 11（臨・C）

血友病治療のアップデート

座長

西田恭治（国立病院機構大阪医療センター血友病科/感染症内科）
澤田暁宏（兵庫医科大学呼吸器・血液内科）

■演者：

SY11-1

最新の凝固因子製剤と製剤選択について～結局どの製剤がよいのか？～

山崎尚也

広島大学病院輸血部

SY11-2

Non-Factor 製剤のアップデート

武山雅博

奈良県立医科大学小児科/国立病院機構大阪医療センター血友病科

SY11-3

血友病に対する遺伝子治療

大森 司

自治医科大学医学部生化学講座病態生化学部門/自治医科大学遺伝子治療研究センター

SY11-4

救急領域における止血機能異常症の診療ガイド

日笠 聡

兵庫医科大学呼吸器・血液内科

ワークショップ

■日時：12月3日（日） 13：45～14：45

■会場：第4会場（2F 朱雀③）

ワークショップ 1（社・S）

海外から転入した HIV 陽性者の治療アクセス

座長

生島 嗣（ぶれいす東京）
青木理恵子（NPO 法人 CHARM）

■演者：

WS1-1

海外から転入する HIV 陽性者の治療アクセスの課題～NPO 等に寄せられた相談例から

沢田貴志

港町診療所/NPO 法人シェア＝国際保健協力市民の会

WS1-2

海外から転入した HIV 陽性者の治療アクセス

川名奈央子

特定非営利活動法人 CHARM

WS1-3

海外から転入された HIV 陽性者の抗 HIV 療法の継続～大阪医療センターの経験～

岡本 学

国立病院機構大阪医療センター医療福祉相談室

ワークショップ

■日時：12月3日（日） 15:55~17:25

■会場：第2会場（2F 春秋③）

ワークショップ 2（基・B）

Gag の分子生物学と阻害薬研究
の最前線

座長

門出和精（熊本大学大学院生命科学研究部微生物学
講座）

岩谷靖雅（（独）国立病院機構名古屋医療センター
臨床研究センター）

■演者：

WS2-1

The roles Gag plays in HIV-1
particle assembly and subse-
quent steps.

Akira Ono

Department of Microbiology & Immunology,
University of Michigan Medical School

WS2-3

HIV Gag をターゲットとした創薬
研究

玉村啓和

東京医科歯科大学生体材料工学研究所

WS2-2

HIV カプシド関連宿主因子による
ウイルス増殖の制御

齊藤 暁

宮崎大学農学部獣医学科

WS2-4

長期作用型 HIV-1 CA 阻害剤に対
する耐性関連変異の分子機序

岩谷靖雅

（独）国立病院機構名古屋医療センター臨床研究セン
ター/名古屋大学大学院医学系研究科

■日時：12月3日（日） 17:35~19:05

■会場：第2会場（2F 春秋③）

ワークショップ 3（臨・C）

Collaboration with EACS,
Case Discussion

座長

谷口俊文（千葉大学医学部附属病院感染制御部・感
染症内科）

宇野健司（南奈良総合医療センター感染症内科）

白野倫徳（大阪市立総合医療センター感染症内科）

■演者：

WS3-1

A case of Acquired Immunode-
ficiency Syndrome with
Abdominal Mass

今北菜津子

奈良県立医科大学感染症センター

WS3-3

A case of severe MPOX

Erica Pool

NIHR Doctoral Research Fellow UCL Institute
for Global Health, UK

WS3-2

A case of AIDS living with
SARS-CoV-2 for a long period
of time-discussion with virolo-
gical analysis of SARS-CoV-2

福岡里紗

大阪市立総合医療センター感染症内科

■コメンテーター：

Sanjay Bhagani

Royal Free Hospital London, UK

Tristan Barber

Royal Free Hospital London, UK

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

ワークショップ

■日時：12月5日（火） 11：10～12：40

■会場：第3会場（2F 朱雀①）

ワークショップ 4（基・B）

HIV 複製と宿主の攻防

座長

武内寛明（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究
科ハイリスク感染症研究マネジメント
学）

櫻木淳一（神奈川県衛生研究所微生物部）

■演者：

WS4-1

骨髄性白血病細胞株 THP-1 において、HIV-1 の感染性を決める Vif の標的は APOBEC3 タンパク質である

池田輝政

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター分
子ウイルス・遺伝学分野

WS4-3

HIV が逆転写の鋳型として使用する RNA

芳田 剛

国立感染症研究所エイズ研究センター

WS4-2

新規抗 HIV-1 宿主因子 ZCCHC3 はウイルス産生ならびに感染性を低下させる

齊藤 暁

宮崎大学農学部獣医学科

WS4-4

HIV-1 感染増殖伝播過程における Human mannose receptor 1 (hMRC1) の役割

助川明香

東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科ウイルス制御学分野/National Institutes of Health, NIAID, LMM

Scientific Engagement Satellite Symposium

■日時：12月4日（月） 14:55～16:55

■会場：第3会場（2F 朱雀①）

Scientific
Engagement
Satellite
Symposium

いま、これからの HIV 診療～患者さん中心の診療のエッセンスを考える～

座長 田沼順子（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

■演者：

SESS-1 田沼順子
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

SESS-2 Chloe Orkin
Queen Mary University of London

SESS-3 吉野友祐
帝京大学

SESS-4 生島 嗣
ぶれいす東京

SESS-5 奥井裕斗
ぶれいす東京

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

共催シンポジウム

■日時：12月3日（日） 8：45～10：45

■会場：第2会場（2F 春秋③）

共催 シンポジウム 1 （臨・C）

多職種連携で行う長期療養時代の
薬物治療マネジメント

座長

平野 淳（名古屋医療センター 薬剤部）
尾崎淳子（京都大学医学部附属病院 薬剤部）

■演者：

SS1-1

松村勝之

京都大学医学部附属病院薬剤部

水野菜穂子

京都大学医学部附属病院疾患栄養治療部

SS1-2

石井聡一郎

広島大学病院 薬剤部

重信英子

広島大学病院 エイズ医療対策室

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■日時：12月3日（日） 8：45～10：15

■会場：第3会場（2F 朱雀①）

共催 シンポジウム 2

Patient Reported Outcome
を重視した HIV ケアの重要性
～声を届ける、声をとらえる～

座長

白野倫徳（大阪市立総合医療センター）

SS2-1

白野倫徳

大阪市立総合医療センター

SS2-2

渡部恵子

北海道大学病院

SS2-3

奥井裕斗

NPO 法人ふれいす東京

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：12月3日（日） 13：45～15：45

■会場：第2会場（2F 春秋③）

共催 シンポジウム 3

HIV 感染者のためのワクチン
ガイドライン：エビデンスに基づ
く推奨

座長

照屋勝治（国立国際医療研究センターエイズ治
療・研究開発センター）

SS3-1

肺炎球菌ワクチン

内藤俊夫

順天堂大学医学部 総合診療科学講座

SS3-2

HPV ワクチン

水島大輔

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発セ
ンター

SS3-3

肝炎（HAV/HBV）ワクチン

吉村幸浩

横浜市立市民病院 感染症内科

SS3-4

带状疱疹ワクチン

渡邊 大

大阪医療センター臨床研究センター エイズ先端医療
研究部

Q&A・パネルディスカッション

共催：MSD 株式会社メディカルアフェアーズ部門

共催シンポジウム

■日時：12月3日（日） 17:05～19:05

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

共催 シンポジウム 4

持効性注射剤が HIV 陽性者にも
たらずベネフィット

座長 南 留美（九州医療センター）

Opening remarks 南 留美
九州医療センター

SS4-2 安達英輔
東京大学医科学研究所附属病院

SS4-1 白川康太郎
京都大学医学部附属病院

SS4-3 大金美和
国立国際医療研究センター病院

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社・
塩野義製薬株式会社

■日時：12月4日（月） 8:30～10:00

■会場：第4会場（2F 朱雀③）

共催 シンポジウム 5 （臨・C）

高齢化する PLWH の長期療養を
支えるために、これからの薬薬薬
連携を考える

座長 柏原陽平（京都第一赤十字病院 薬剤部）
日笠真一（兵庫医科大学病院 薬剤部）

SS5-1 拠点病院薬剤師の立場から：薬³ 連
携の輪を広げるための拠点病院の
取り組み—高齢化する患者さんを
総合的にマネジメントするために—
村田龍宣
京都市立病院 薬剤科

SS5-3 一般病院医師の立場から：一般病
院やホスピスで PLWH を診る。連
携の現状と課題
小林正行
日本バプテスト病院 血液内科

SS5-2 保険薬局薬剤師の立場から：病院
との連携と実際—薬局薬剤師が患
者さんの声を拾い、より適切なレジ
メンに—
山本順也
ココカラファイン薬局 谷町四丁目駅店

Q&A・パネルディスカッション：
「拠点病院に留まらない、保険薬局、
一般病院、ホスピス等との連携の在
り方」

共催：MSD 株式会社メディカルアフェアーズ部門

共催シンポジウム

■日時：12月4日（月） 13：15～15：15

■会場：第2会場（2F 春秋③）

共催 シンポジウム 6

HIV-1 感染症の根治に向けて
—3—シン・ART 時代の HIV リ
ザーバーサイズ測定の意義—

座長

吉村和久（東京都健康安全研究センター）
石田尚臣（デンカ株式会社）

SS6-1 横幕能行
国立病院機構名古屋医療センター

SS6-3 鈴木一雄
St Vincent's Hospital Sydney

SS6-2 立川 愛
国立感染症研究所

SS6-4 水島大輔
国立国際医療研究センター

共催：デンカ株式会社

■日時：12月4日（月） 13：15～14：45

■会場：第3会場（2F 朱雀①）

共催 シンポジウム 7

HIV 診療における Patient
Empowerment～コミュニケー
ションにおける課題と解決策～

座長

東 光久（奈良県総合医療センター 総合診療
科）
井上洋士（株式会社アクセライト）

SS7-1 関谷綾子
東京医科大学 臨床検査医学分野

SS7-3 吉野友祐
帝京大学 医学部微生物学講座

SS7-2 井上洋士
株式会社アクセライト

パネルディスカッション：
「コミュニケーションにおける課題
と解決策」

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社
メディカルアフェアーズ本部

■日時：12月5日（火） 9：00～11：00

■会場：第3会場（2F 朱雀①）

共催 シンポジウム 8

HIV 感染症と Premature
aging

座長

松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同
研究センター）
岡 慎一（国立国際医療研究センターエイズ治
療・研究開発センター/国立療養所
多磨全生園）

SS8-1 エイジングを見据えた HIV 診療
村松 崇
東京医科大学臨床検査医学分野

SS8-3 免疫老化と生活習慣病
佐野元昭
慶應義塾大学医学部循環器内科

SS8-2 HIV 感染者のメタボリックリスク
と ART 選択
南 留美
国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療
センター

共催：MSD 株式会社

共催シンポジウム

■日時：12月5日（火） 10：40～12：40

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

共催 シンポジウム 9

Clinical Management of
Heavily Treatment Experi-
enced People Living with
HIV

座長

瀧永博之（国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター）
木内 英（東京医科大学 臨床検査医学分野）

SS9-1

瀧永博之

国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

SS9-3

今橋真弓

名古屋医療センター 臨床研究センター
感染・免疫研究部

SS9-2

Romas Geleziunas

Executive Director, Virology,
Gilead Sciences Inc.

パネルディスカッション：
「Case-based Discussion」

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社
メディカルアフェアーズ本部

ランチョンセミナー

■日時：12月3日（日） 12：30～13：30

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

ランチョン
セミナー 1

いつまでも変わらないHIVで
いてもらうために

座長 湯永博之（国立国際医療研究センターエイズ治療・
研究開発センター）

LS1

横幕能行

国立病院機構名古屋医療センター

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■日時：12月3日（日） 12：30～13：30

■会場：第2会場（2F 春秋③）

ランチョン
セミナー 2

座長 西田恭治（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター血友病科/感染症内科）

LS2

HIV 合併血友病患者の
新たな課題とリスクの変化

木内 英

東京医科大学臨床検査医学分野

共催：CSL ベーリング株式会社

■日時：12月3日（日） 12：30～13：30

■会場：第7会場（1F ラシゴーニュ）

ランチョン
セミナー 3

免疫不全患者に対する新型コロナ
対策について

座長 高折晃史（京都大学大学院医学部研究科）

LS3

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院

共催：アストラゼネカ株式会社

ランチョンセミナー

■日時：12月4日（月） 12：00～13：00

■会場：第2会場（2F 春秋③）

ランチョン セミナー4

PLHIVの将来を見据えた抗HIV
治療～過去・現在・そして未来～

座長 高折晃史（京都大学大学院医学研究科血液・
腫瘍内科学）

LS4-1

高折晃史

京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

LS4-2

山中 晃

新宿東口クリニック

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社・
塩野義製薬株式会社

■日時：12月4日（月） 12：00～13：00

■会場：第3会場（2F 朱雀①）

ランチョン セミナー5

PLWHの合併症対策

座長 内藤俊夫（順天堂大学医学部総合診療科学講座）

LS5-1

HIV陽性者のための糖尿病を始め
とする生活習慣病の最新アップデート

関谷綾子

東京医科大学臨床検査医学分野

LS5-2

HIV患者の高齢化を踏まえた長期的
ARTレジメンの選択～ピフェルト
ロ®の位置づけについて考察する～

照屋勝治

国立国際医療研究センターエイズ治療・
研究開発センター

共催：MSD株式会社

■日時：12月4日（月） 12：00～13：00

■会場：第4会場（2F 朱雀③）

ランチョン セミナー6

座長 和田秀穂（川崎医科大学血液内科学）

LS6

血友病治療の足跡を辿る
～訪れる新時代を見据えて～

藤井輝久

広島大学病院輸血部血友病診療センター

共催：サノフィ株式会社

ランチョンセミナー

■日時：12月4日（月） 12:00～13:00

■会場：第7会場（1F ラシゴーニュ）

ランチョン セミナー7

座長 遠藤知之（北海道大学病院 血液内科/HIV 診療支援センター）

LS7 HIV 感染血友病患者の高齢化による諸問題

田沼順子

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

共催：中外製薬株式会社

■日時：12月5日（火） 12:55～13:55

■会場：第1会場（2F 春秋①+②）

ランチョン セミナー8

座長 南 留美（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター）

LS8 Long-Term Treatment Success
～新たな選択肢を迎えて HIV の長期治療を再考する～

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■日時：12月5日（火） 12:55～13:55

■会場：第2会場（2F 春秋③）

ランチョン セミナー9

持効性注射剤は HIV と共に生きる人々にどのような変化をもたらしたか

座長 仲村秀太（琉球大学大学院医学研究科）

LS9-1 仲村秀太
琉球大学大学院医学研究科

LS9-2 Chloe Orkin
Queen Mary University of London

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社・塩野義製薬株式会社

ランチョンセミナー

■日時：12月5日（火） 12：55～13：55

■会場：第7会場（1F ラシゴーニュ）

ランチョン
セミナー 10

座長 遠藤知之（北海道大学病院血液内科/HIV 診療支援センター）

LS10

レセプトデータベースから見る血
友病診療の実態と多様化する医療
連携ニーズ

木内 英

東京医科大学臨床検査医学分野

共催：武田薬品工業株式会社

ポジティブトークセッション

■日時：12月3日（日） 16：45～18：15

■会場：第4会場（2F 朱雀③）

ポジティブ
トークセッション

POSITIVE TALK 2023

座長

高折晃史（京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学）

高久陽介（NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス）

■スピーカー：3名（予定）

メモリアルサービス

■日時：12月4日（月） 16：45～17：45

■会場：第4会場（2F 朱雀③）

メモリアルサービス 第13回 世界エイズデー メモリアル サービス～生命（いのち）をつなぐ～

■企画者：有志

日本エイズ学会認定講習会（医師）

■日時：12月5日（火） 9：00～11：00

■会場：第2会場（2F 春秋③）

日本エイズ学会
認定講習会
（医師）（臨・C）

困難症例の検討会

宇野健司（南奈良総合医療センター感染症内科）
座長 渡邊 大（国立病院機構大阪医療センター臨床研究
センターエイズ先端医療研究部）

■演者：

TR2-1

ART 開始後の血小板減少—患者の
社会的背景も踏まえて—

小川吉彦

堺市立総合医療センター

TR2-2

困難症例：発熱、リンパ節腫脹を来
した 40 歳代男性

宇野健司

南奈良総合医療センター感染症内科

日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師 教育研修プログラム

■日時：12月3日（日） 13：45～15：15

■会場：第3会場（2F 朱雀①）

日本エイズ学会
認定講習会
（看護師）（臨・C）

HIV 感染症患者の災害におけ
る備えの現状と支援の検討
～臨床現場での取り組み～

宮城京子（琉球大学病院看護部外来）
座長 東 政美（独立行政法人国立病院機構大阪医療セン
ター看護部）

■演者：

TR3-1

日本エイズ学会認定 HIV 感染症看
護師が行う直接ケア クイック講座

松山奈央

横浜市立大学附属病院

TR3-3

熊本地震後の HIV 陽性者への対応
の実際と今後の課題

高木雅敏

熊本大学病院

TR3-2

HIV 陽性者の大規模災害への備え
の現状と支援の検討

米田奈津子

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師向け アドバンスト研修

■日時：12月3日（日） 15：25～16：55

■会場：第3会場（2F 朱雀①）

日本エイズ学会
認定 HIV 感染症
指導看護師向け
アドバンスト研修
（臨・C）

事例で考える HIV 感染症患者
の包括ケア

座長

長與由紀子（独立行政法人国立病院機構九州医療セ
ンター）
宮林優子（横浜市立市民病院）

■企画担当：

TR4-1 下司有加
NHO 大阪医療センター

TR4-3 宮林優子
横浜市立市民病院

TR4-2 竹林早苗
横浜市立大学附属病院

TR4-4 長與由紀子
NHO 九州医療センター

HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

■日時：12月3日（日） 17：05～19：05

■会場：第3会場（2F 朱雀①）

HIV 感染症薬物
療法認定・専門
薬剤師認定講習会
（臨・C）

薬剤師が知っておくべき薬害
について

座長

矢倉裕輝（国立病院機構大阪医療センター臨床研究
センターエイズ先端医療研究部）
尾崎淳子（京都大学医学部附属病院薬剤部）

■演者：

TR5-1 薬害防止を目指した薬事規制の経
緯と薬剤師への期待
若生治友
特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

TR5-3 医療者が薬害エイズから学ぶこと
日笠 聡
兵庫医科大学呼吸器・血液内科

TR5-2 薬害・血友病診療への薬剤師の取
組み
増田純一
国立国際医療研究センター病院